

中小企業景況調査報告書

2025年1月～3月期

高知県商工会連合会

中小企業景況調査

[調査事項]

1. 調査対象

(1)調査対象地区	室戸市	香美市	大豊町	本山町	土佐地区
	いの町	春野	仁淀川町	中土佐町	津野町
	梶原町	四万十町	三原村	大月町	

(2)調査企業数 150企業

(3)回答企業数 144企業 (回答率：96%)

2. 調査対象期間

2025年1月～3月期を対象とし、調査時点は2025年3月1日とする。

3. 調査方法

(1)商工会の経営指導員による訪問面接調査

(2)調査対象地区は市町村人口規模に勘案して行い、調査対象企業の抽出は業種、規模等有意選出法による。

4. 回答企業数の内訳

業 種	回答企業数	構成比 (%)
製 造 業	33	22.9
建 設 業	22	15.3
小 売 業	41	28.5
サービス業	48	33.3
合 計	144	100.0

注記 本報告書のDIとは、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査事項についての増加（上昇、好転、長期化）の企業割合と減少（低下、悪化、短期化）企業割合の差を示すものである。

Ⅰ. 産業全体の景況概要

○商工会地域における今期（2025年 1月～ 3月期）の状況

[製 造 業]

(D I 値)

期 項目	2024年10月～12月	2025年 1月～ 3月	対 前 期 比
売 上 額	△ 26.5	△ 15.2	11.3ポイント上昇
採 算	△ 26.4	△ 12.5	13.9ポイント上昇
資 金 繰 り	△ 17.6	△ 9.4	8.2ポイント上昇

[建 設 業]

(D I 値)

期 項目	2024年10月～12月	2025年 1月～ 3月	対 前 期 比
完 成 工 事 額	△ 22.8	△ 45.4	22.6ポイント下降
採 算	△ 36.4	△ 50.0	13.6ポイント下降
資 金 繰 り	0.0	0.0	±0.0ポイント

[小 売 業]

(D I 値)

期 項目	2024年10月～12月	2025年 1月～ 3月	対 前 期 比
売 上 額	△ 57.2	△ 34.2	23.0ポイント上昇
採 算	△ 47.6	△ 48.8	1.2ポイント下降
資 金 繰 り	△ 28.6	△ 35.0	6.4ポイント下降

[サービス業]

(D I 値)

期 項目	2024年10月～12月	2025年 1月～ 3月	対 前 期 比
売 上 額	0.0	△ 25.0	25.0ポイント下降
採 算	△ 10.0	△ 33.3	23.3ポイント下降
資 金 繰 り	0.0	△ 20.8	20.8ポイント下降

○来期見通し(2025年 4月～ 6月期)

(D I 値)

区分 業種	売 上 額 完 成 工 事 額	採 算	資 金 繰 り
製 造 業	△ 18.1	△ 25.0	△ 9.3
建 設 業	△ 27.3	△ 45.5	△ 27.3
小 売 業	△ 39.0	△ 43.9	△ 30.0
サ ー ビ ス 業	△ 25.0	△ 20.8	△ 8.3

2. 産 業 別 景 況

製造業の動向

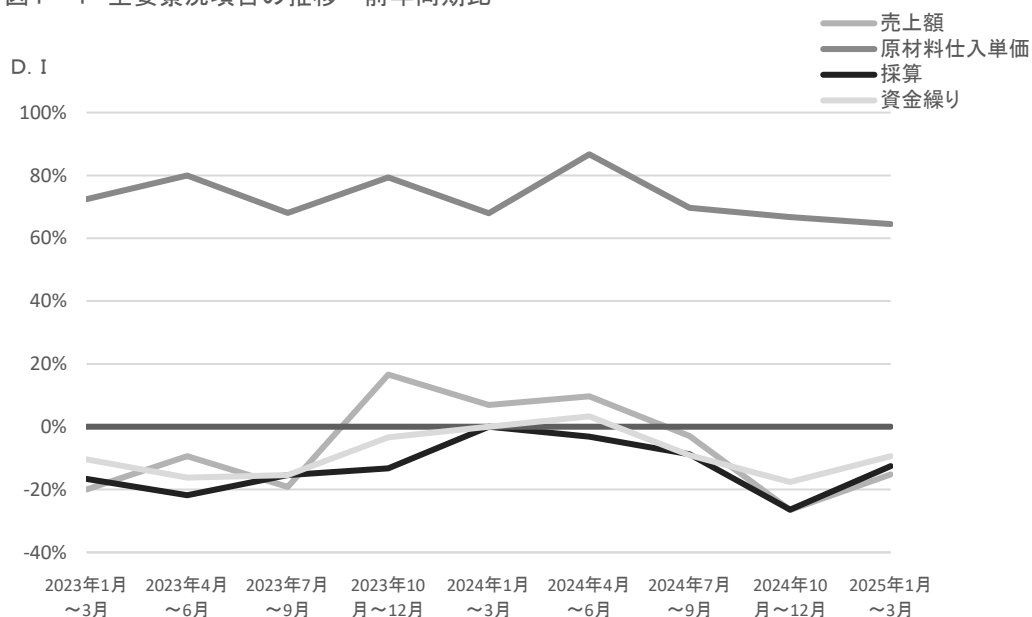
○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、 $\Delta 26.5 \rightarrow \Delta 15.2$ と11.3ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 15.7 \rightarrow \Delta 15.1$ と0.6ポイント上昇)
- ・採算DI値は、 $\Delta 26.4 \rightarrow \Delta 12.5$ と13.9ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 24.7 \rightarrow \Delta 26.3$ と1.6ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 17.6 \rightarrow \Delta 9.4$ と8.2ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 17.0 \rightarrow \Delta 16.1$ と0.9ポイント上昇)

今期は、売上額DIと採算DIと資金繰りDIでマイナス幅が縮小した。

来期は、売上額DIと採算DIでマイナス幅が拡大し、資金繰りDIでマイナス幅の減少が見込まれる。

図1-1 主要景況項目の推移—前年同期比—



項目 \ 期	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月	2023年1月～3月
売上額	0.0	0.0	$\Delta 3.3$	16.6	$\Delta 20.0$
原材料仕入単価	70.0	86.7	82.1	82.8	72.4
採算	$\Delta 29.0$	$\Delta 25.8$	$\Delta 35.5$	$\Delta 26.6$	$\Delta 16.6$
資金繰り	$\Delta 6.6$	$\Delta 9.7$	$\Delta 16.7$	$\Delta 20.7$	$\Delta 10.4$

図 1 - 2 売上額推移（月別指数）

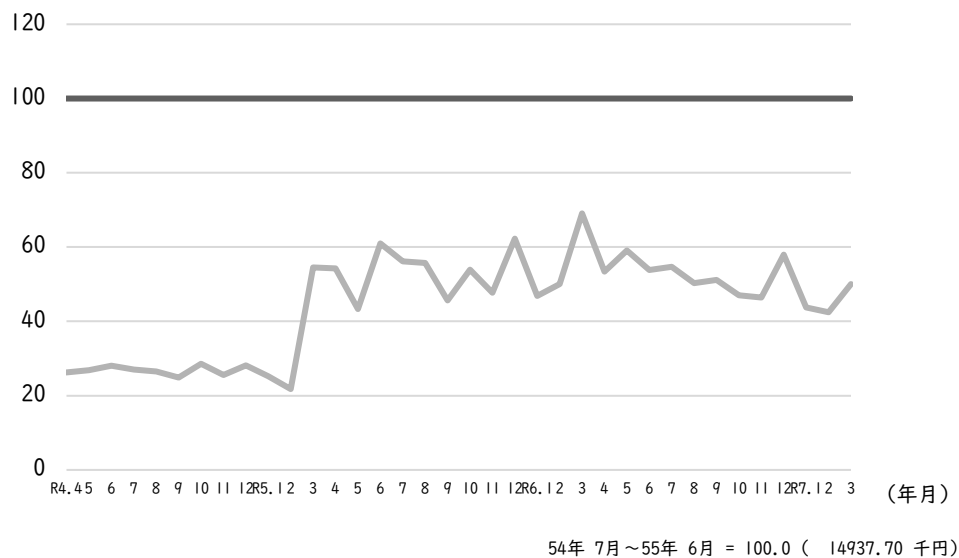


図 1 - 3 売上額の状況－前年同期比－

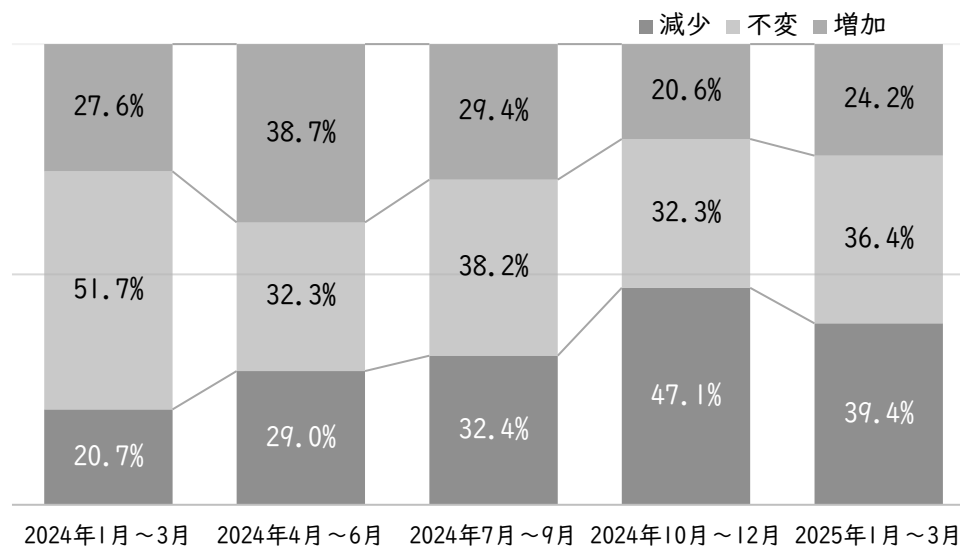


図 1 - 4 採算の状況－前年同期比－

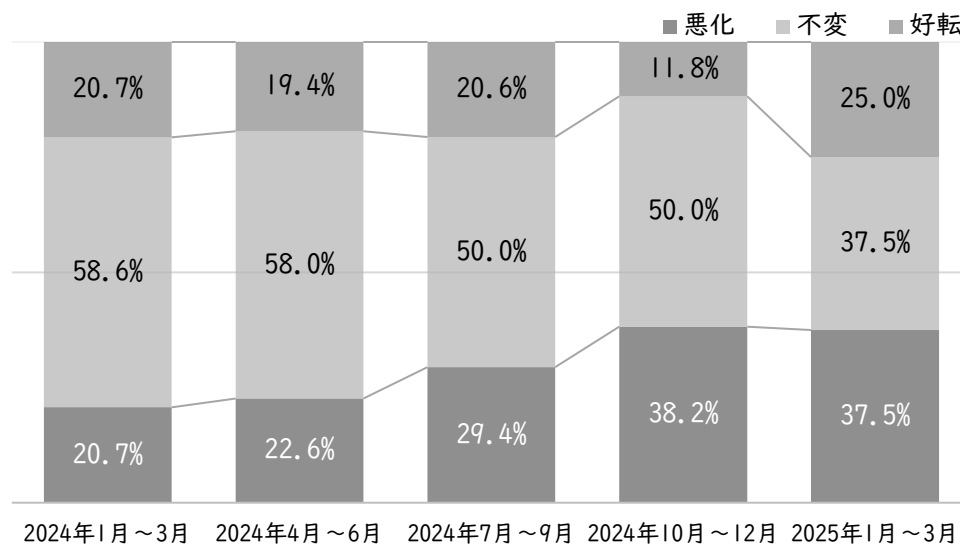


図 Ⅰ－５ 設備投資の状況

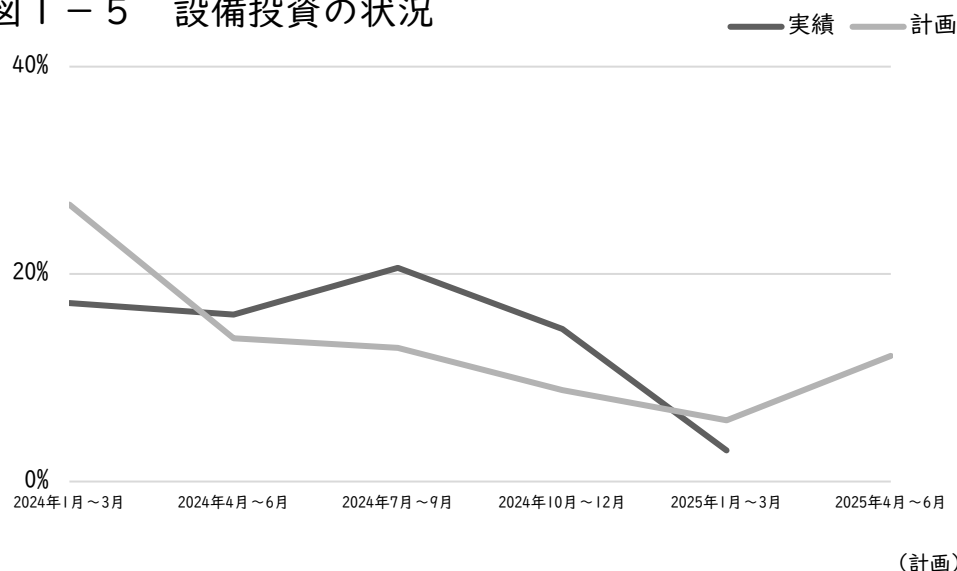


図 Ⅰ－６ 経営上の問題点の状況（１位と１位～３位）

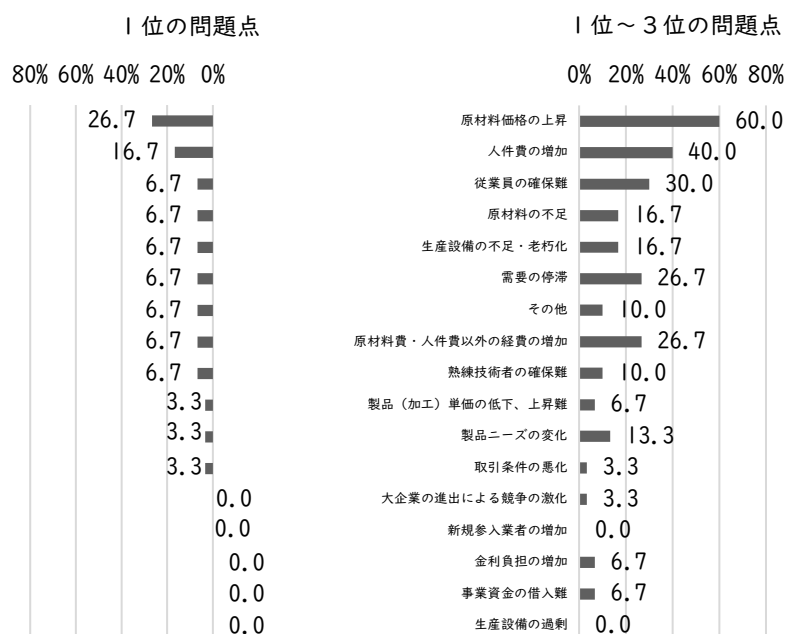


図 Ⅰ－７ 経営上の問題点の推移
（１位の問題点・上位５つ）

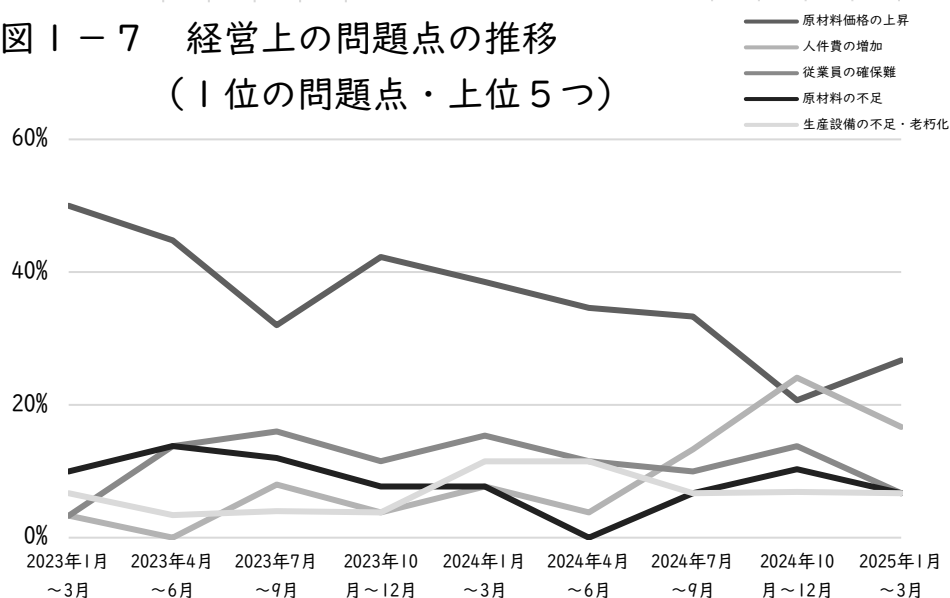


図 Ⅰ－ 8 売上額の状況－前年同期比－

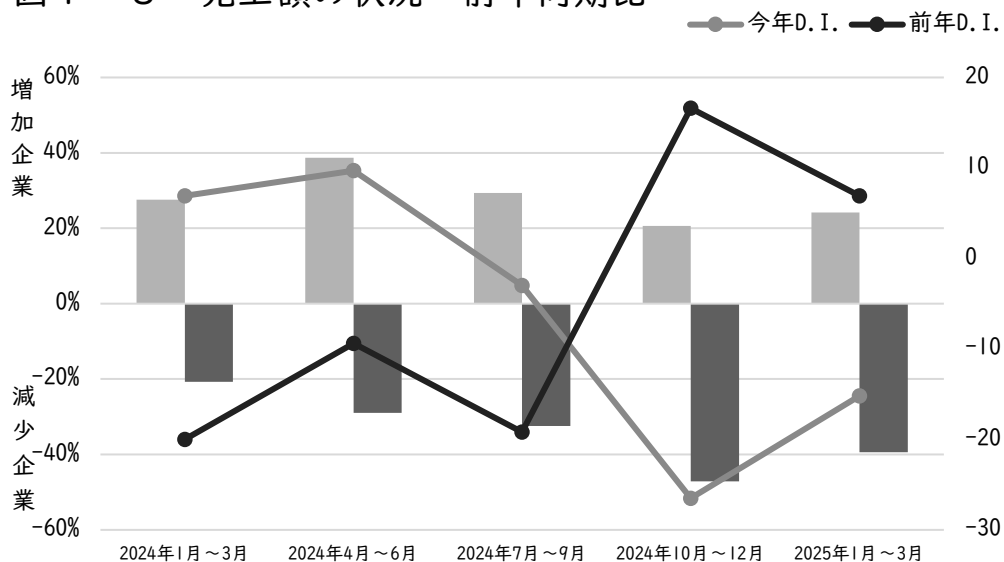
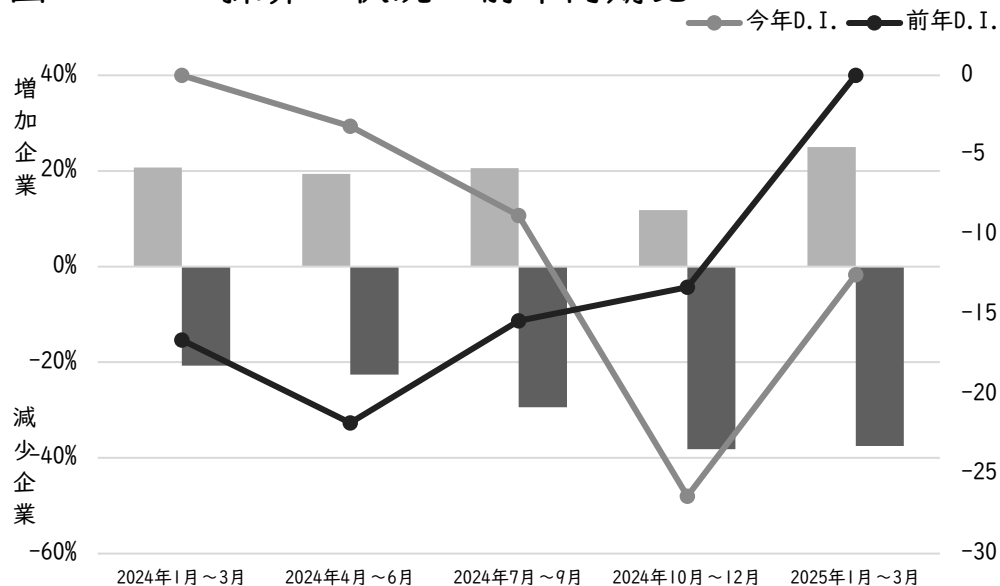


図 Ⅰ－ 9 採算の状況－前年同期比－



建設業の動向

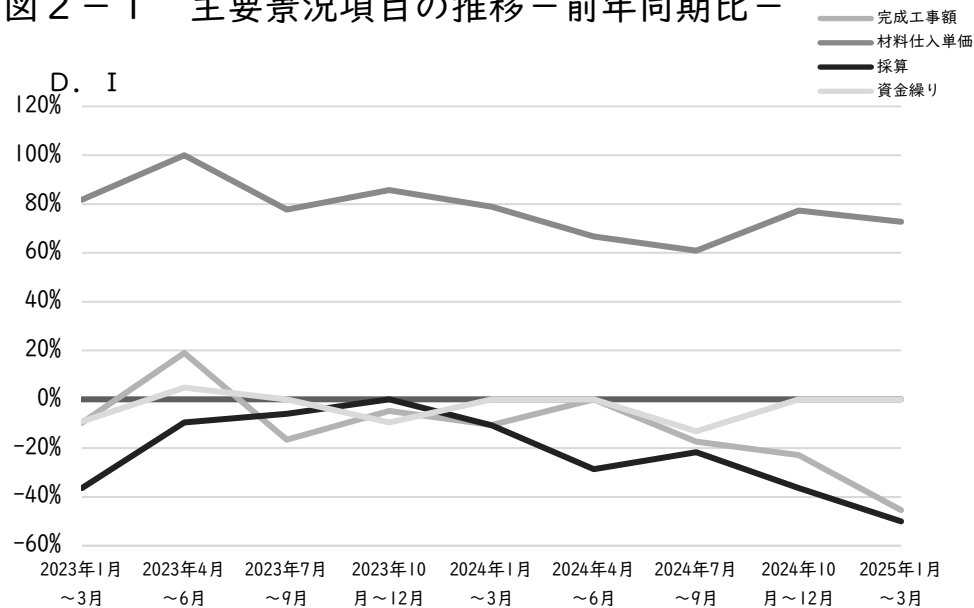
○主要景況項目から見た概要

- ・ 完成工事額DI値は、 $\Delta 22.8 \rightarrow \Delta 45.4$ と22.6ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 12.6 \rightarrow \Delta 14.4$ と1.8ポイント下降)
- ・ 採算D I 値は、 $\Delta 36.4 \rightarrow \Delta 50.0$ と13.6ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 21.4 \rightarrow \Delta 25.2$ と3.8ポイント下降)
- ・ 資金繰りDI値は、 $0.0 \rightarrow 0.0$ と ± 0.0 ポイント
(同全国値は、 $\Delta 9.2 \rightarrow \Delta 11.8$ と2.6ポイント下降)

今期は、完成工事額DIと資金繰りDIでマイナス幅が拡大し、採算DIは変動がなかった。

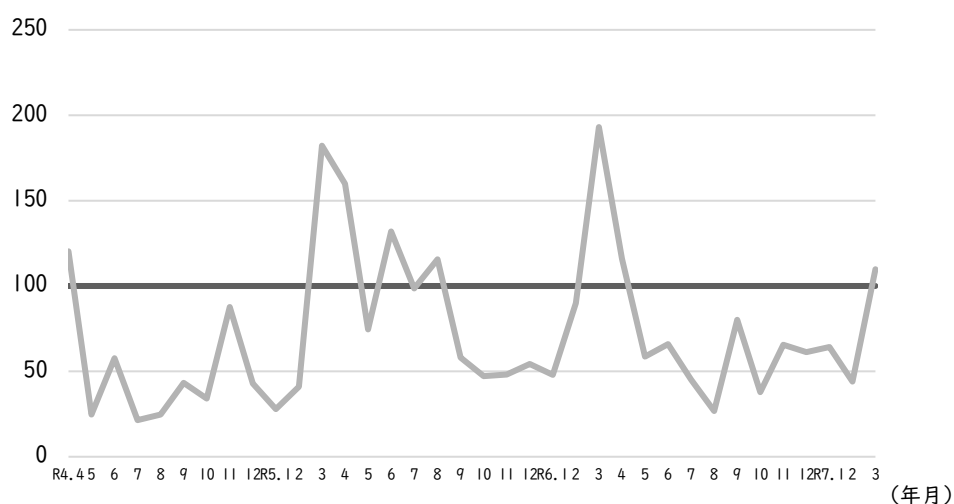
来期は、完成工事額DIと採算DIでマイナス幅が縮小し、資金繰りDIでマイナスへの悪化が見込まれる。

図 2 - 1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月	2023年1月～3月
売上額	$\Delta 45.4$	$\Delta 17.4$	$\Delta 5.0$	$\Delta 13.0$	$\Delta 9.6$
原材料仕入単価	73.9	87.0	77.3	69.6	81.8
採算	$\Delta 47.8$	$\Delta 43.5$	$\Delta 27.3$	$\Delta 34.8$	$\Delta 36.4$
資金繰り	$\Delta 8.7$	$\Delta 8.7$	0.0	$\Delta 8.7$	$\Delta 9.1$

図 2 - 2 完成工事額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 (14128.40 千円) 全国完成工事額月平均

図 2 - 3 完成工事額の状況－前年同期比－

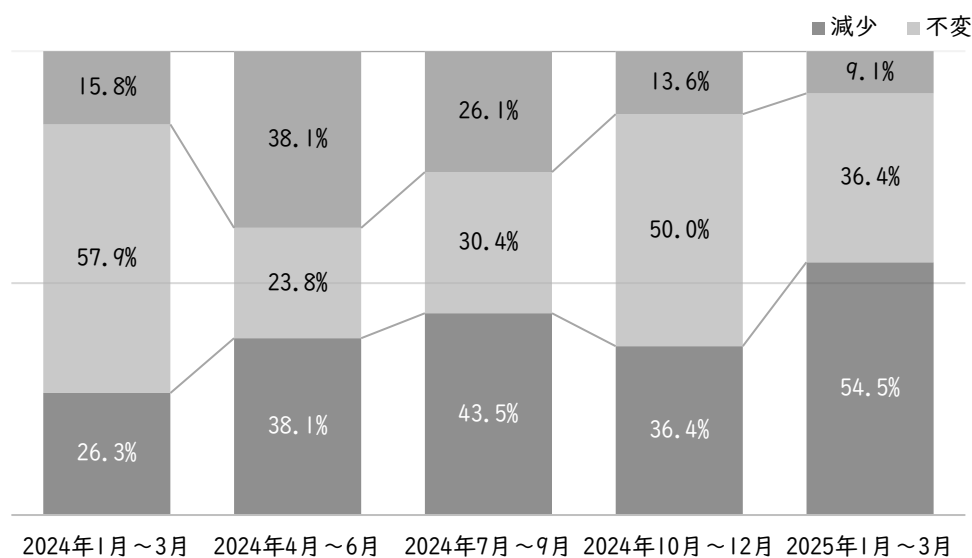


図 2 - 4 採算の状況－前年同期比－

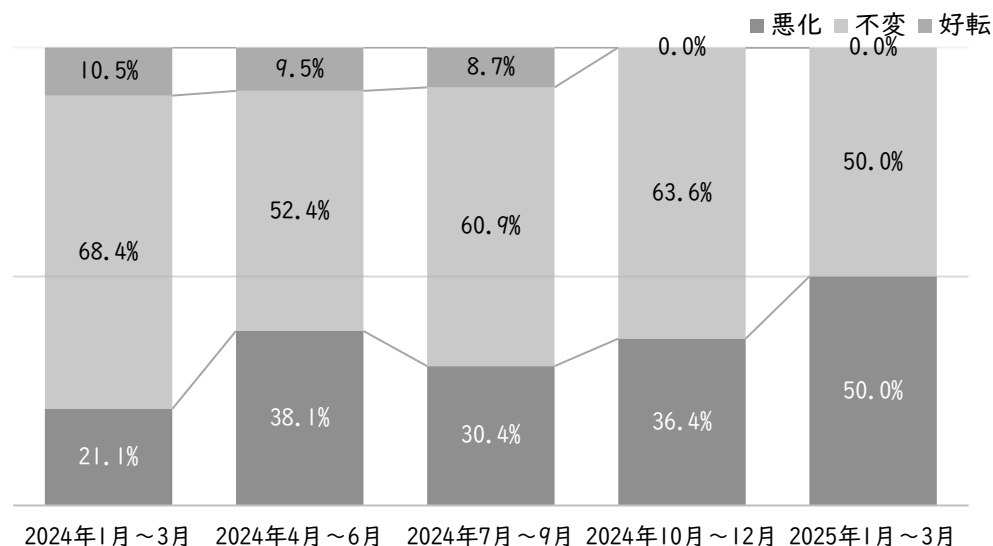


図 2－5 設備投資の状況

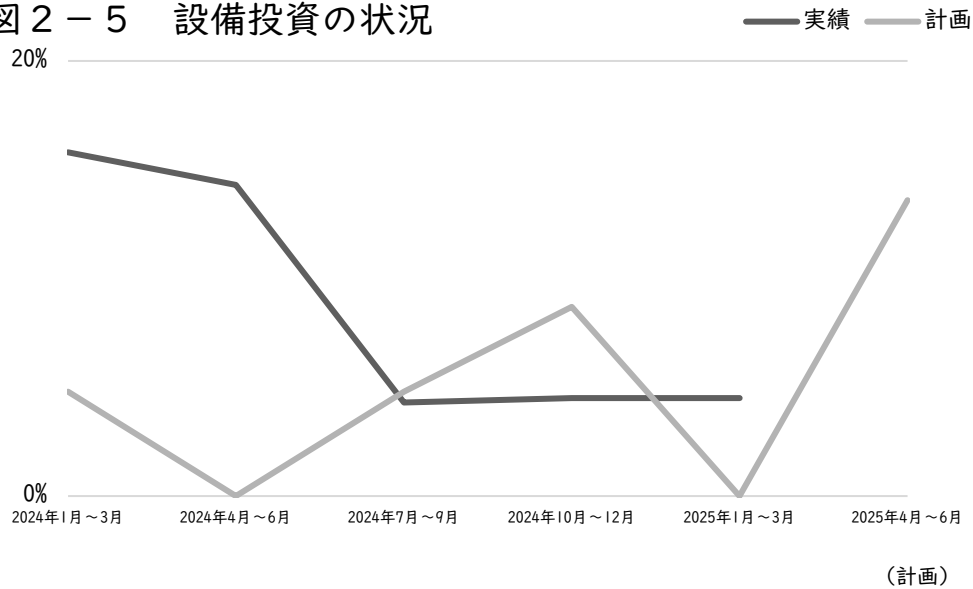


図 2－6 経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）

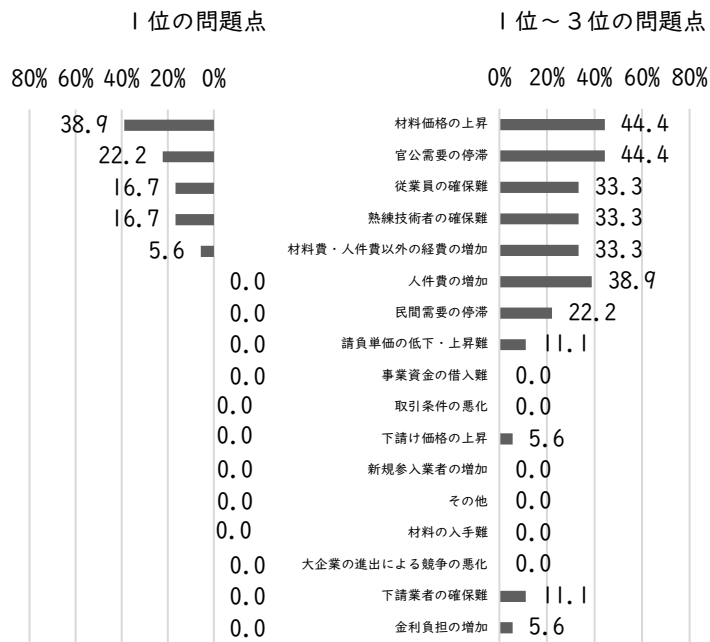


図 2－7 経営上の問題点の推移

（1位の問題点・上位5つ）

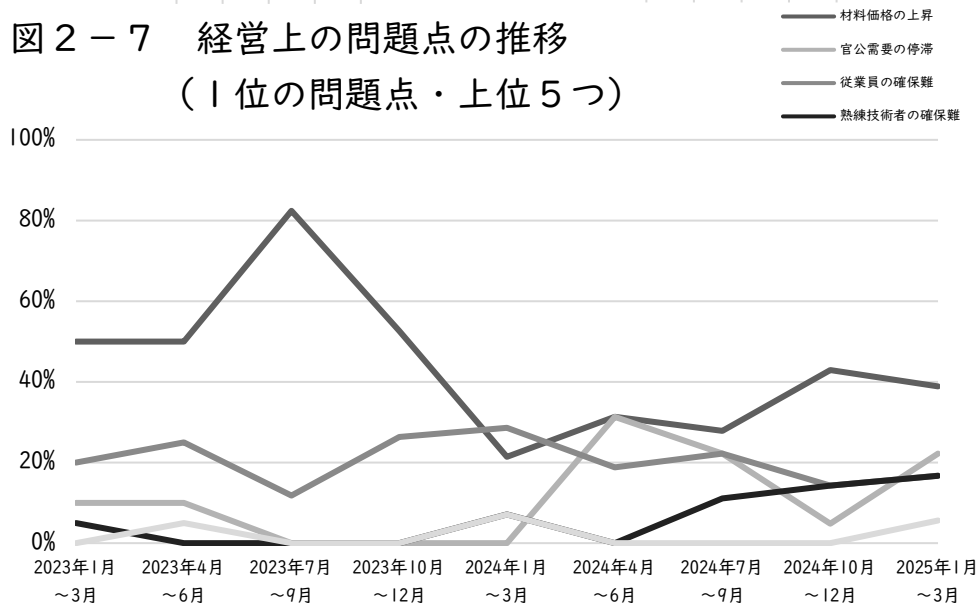


図 2－8 完成工事額の状況－前年同期比－

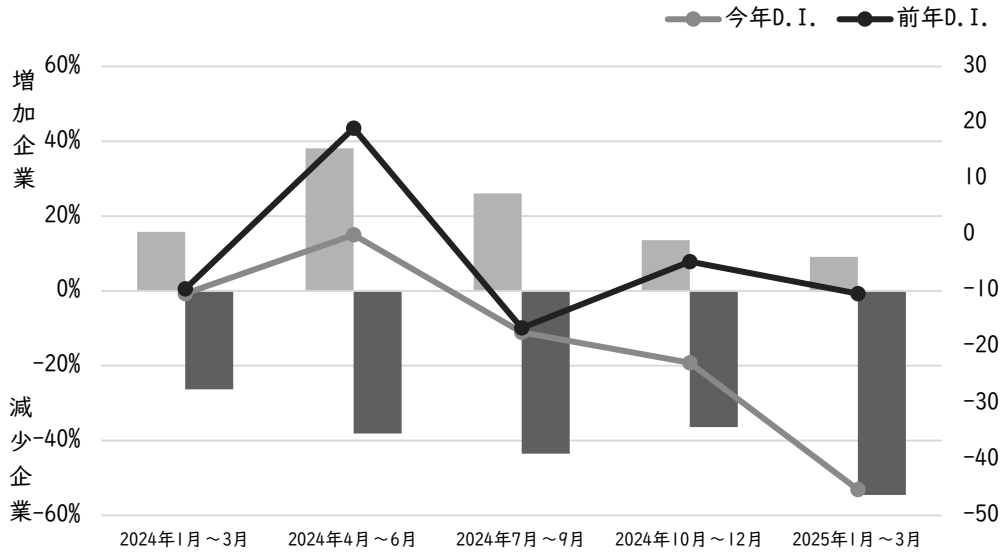
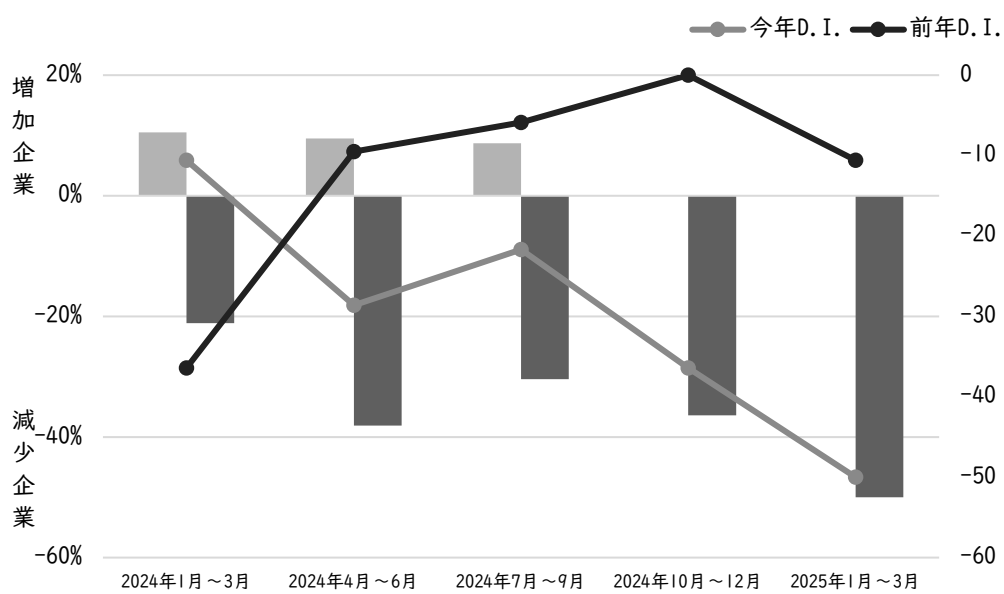


図 2－9 採算の状況－前年同期比－



小売業の動向

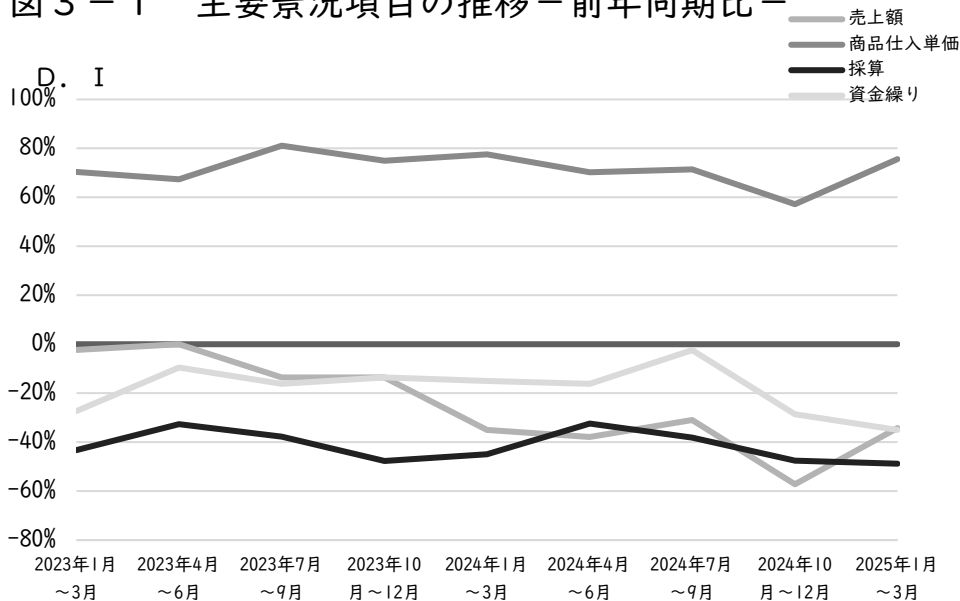
○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、 $\Delta 57.2 \rightarrow \Delta 34.2$ と23.0ポイント上昇
(同全国値は、 $\Delta 26.2 \rightarrow \Delta 25.5$ と0.7ポイント上昇)
- ・採算DI値は、 $\Delta 47.6 \rightarrow \Delta 48.8$ と1.2ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 33.7 \rightarrow \Delta 37.0$ と3.3ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、 $\Delta 28.6 \rightarrow \Delta 35.0$ と6.4ポイント下降
(同全国値は、 $\Delta 22.6 \rightarrow \Delta 23.5$ と0.9ポイント下降)

今期は、売上額DIでマイナス幅が縮小し、採算DIと資金繰りDIでマイナス幅が拡大した。

来期は、売上額DIでマイナス幅が拡大し、採算DIと資金繰りDIでマイナス幅の縮小が見込まれる。

図3－1 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月	2023年1月～3月
売上額	$\Delta 20.9$	0.0	$\Delta 18.6$	$\Delta 18.2$	$\Delta 2.3$
原材料仕入単価	48.9	68.2	62.8	63.7	70.4
採算	$\Delta 32.6$	$\Delta 34.1$	$\Delta 42.9$	$\Delta 52.3$	$\Delta 43.2$
資金繰り	$\Delta 25.6$	$\Delta 13.7$	$\Delta 23.3$	$\Delta 25.0$	$\Delta 27.3$

図 3 - 2 売上額推移（月別指数）

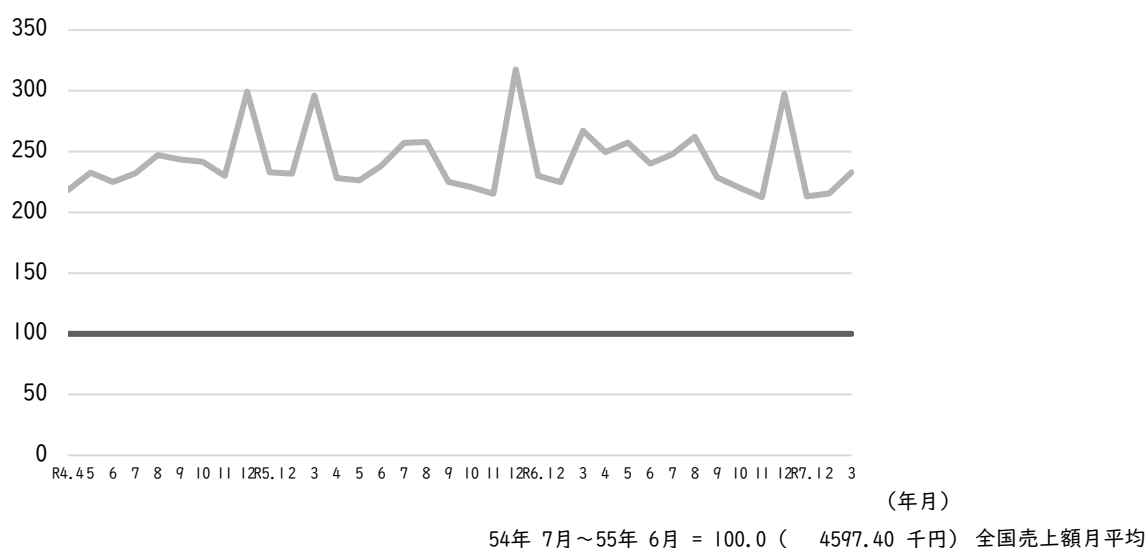


図 3 - 3 売上額の状況－前年同期比－

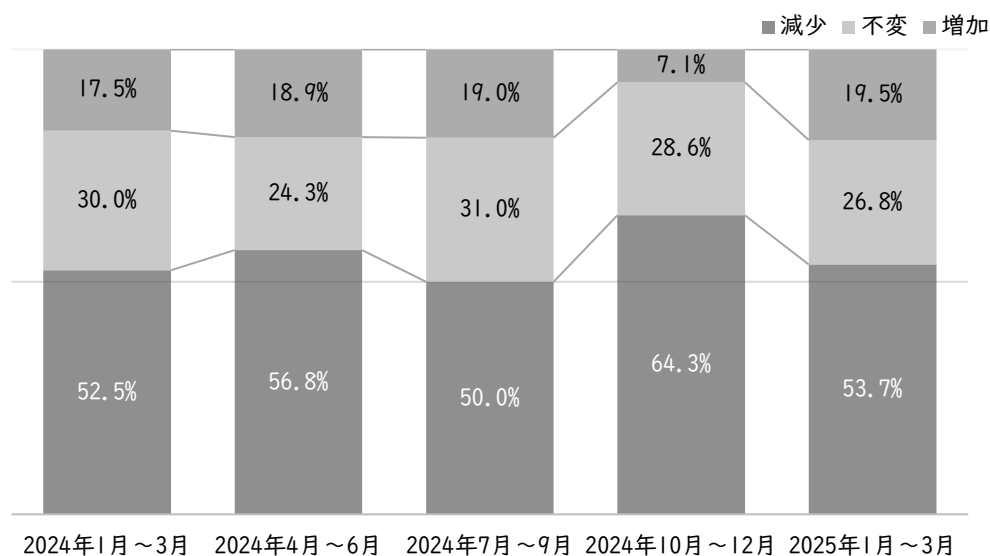


図 3 - 4 採算の状況－前年同期比－

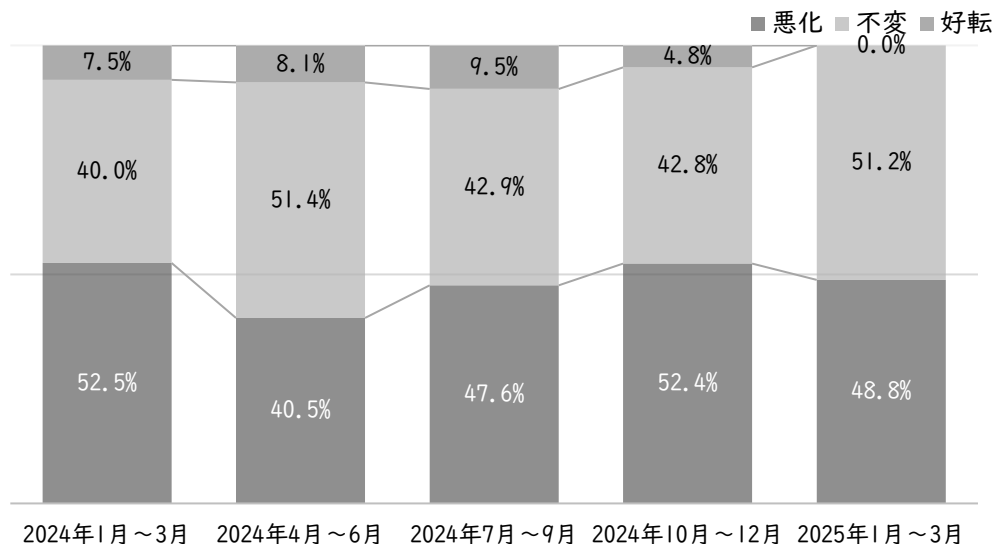


図3-5 設備投資の状況

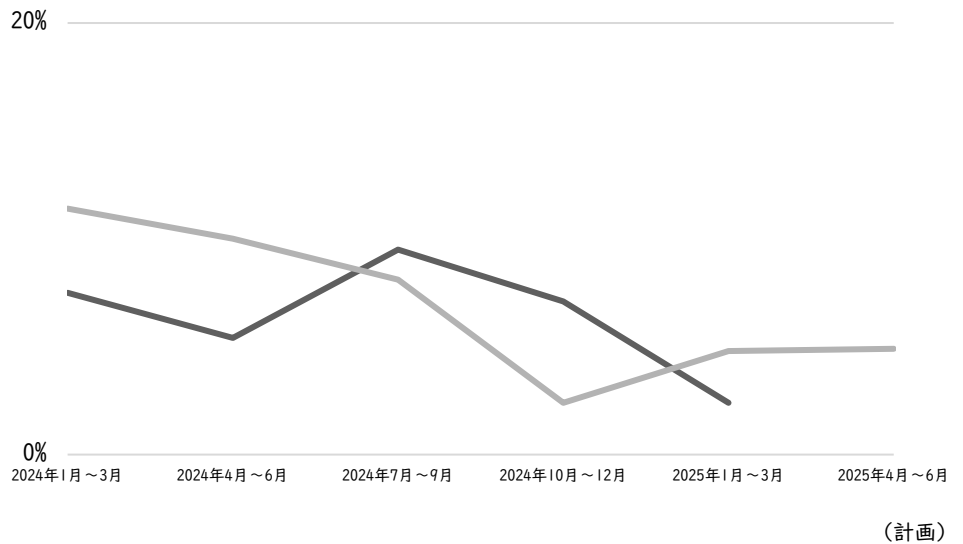


図3-6 経営上の問題点の状況（1位と1位～3位）

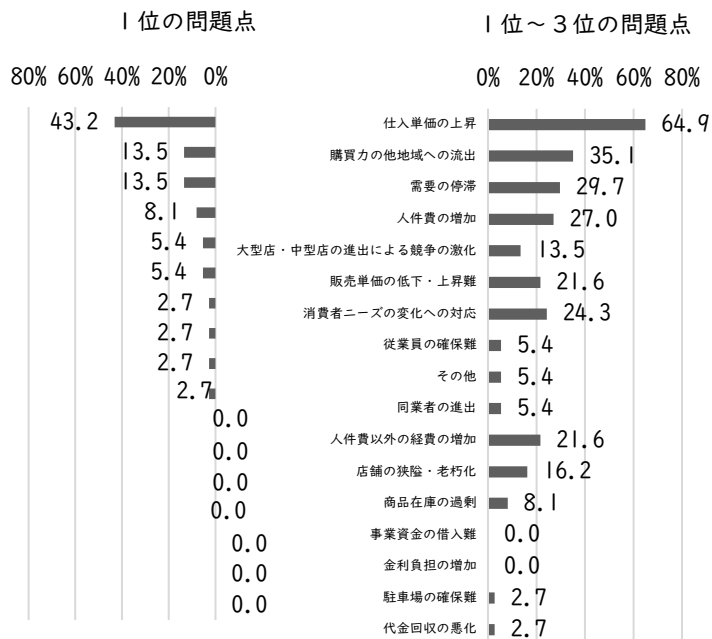


図3-7 経営上の問題点の推移
（1位の問題点・上位5つ）

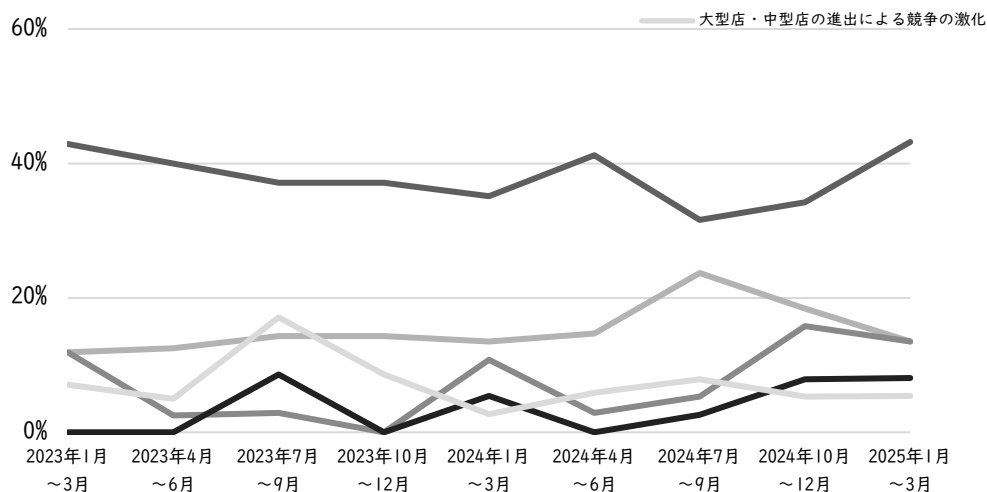


図3－8 売上額の状況－前年同期比－

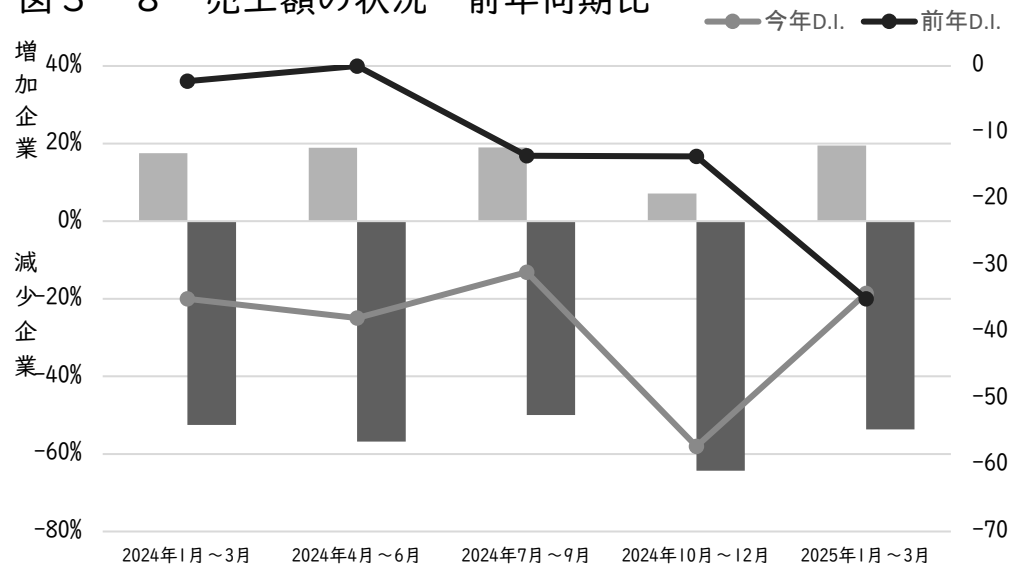
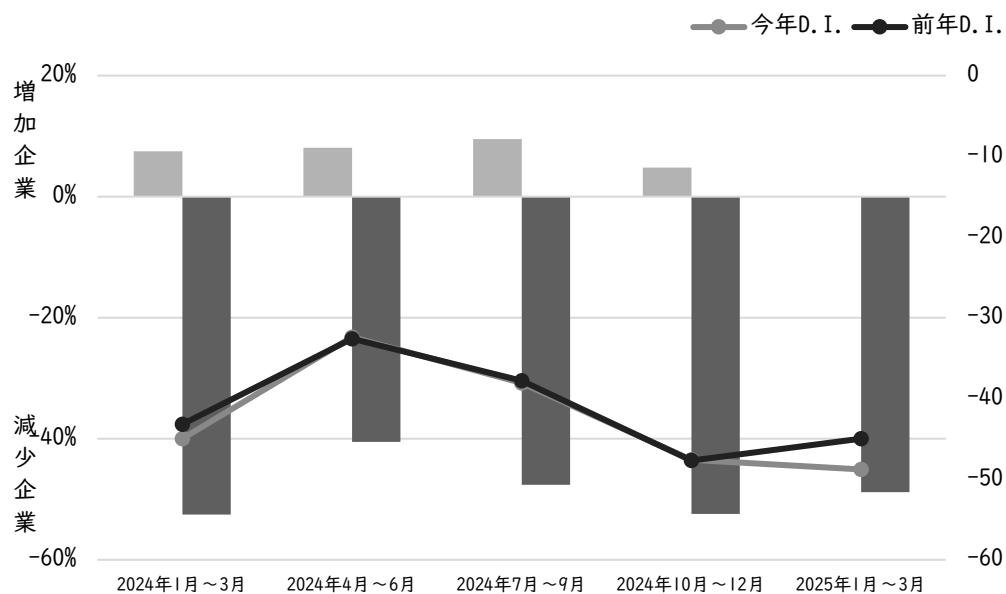


図3－9 採算の状況－前年同期比－



サービス業の動向

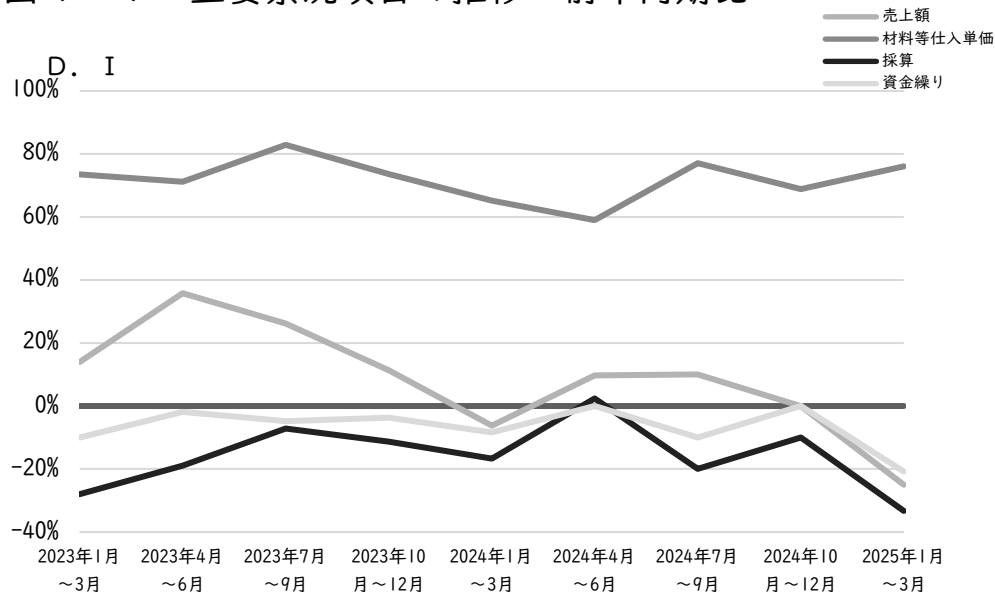
○主要景況項目から見た概要

- ・売上額DI値は、.0→△25.0と25.0ポイント下降
(同全国値は、△6.1→△12.4と6.3ポイント下降)
- ・採算DI値は、△10.0→△33.3と23.3ポイント下降
(同全国値は、△25.5→△31.2と5.7ポイント下降)
- ・資金繰りDI値は、.0→△20.8と20.8ポイント下降
(同全国値は、△12.7→△18.3と5.6ポイント下降)

今期は、売上額DIと資金繰りDIがマイナスに悪化し、採算DIでマイナス幅が拡大した。

来期は、売上額DIは変動がなく、採算DI・資金繰りDIでマイナス幅の縮小が見込まれる。

図４－Ⅰ 主要景況項目の推移－前年同期比－



項目 \ 期	2022年1月～3月	2022年4月～6月	2022年7月～9月	2022年10月～12月	2023年1月～3月
売上額	△ 43.1	1.9	0.0	5.9	14.0
原材料仕入単価	38.8	64.0	75.6	78.4	73.5
採算	△ 46.0	△ 27.4	△ 30.0	△ 25.5	△ 28.0
資金繰り	△ 24.0	△ 5.8	△ 12.3	△ 15.6	△ 10.0

図 4 - 2 売上額推移（月別指数）

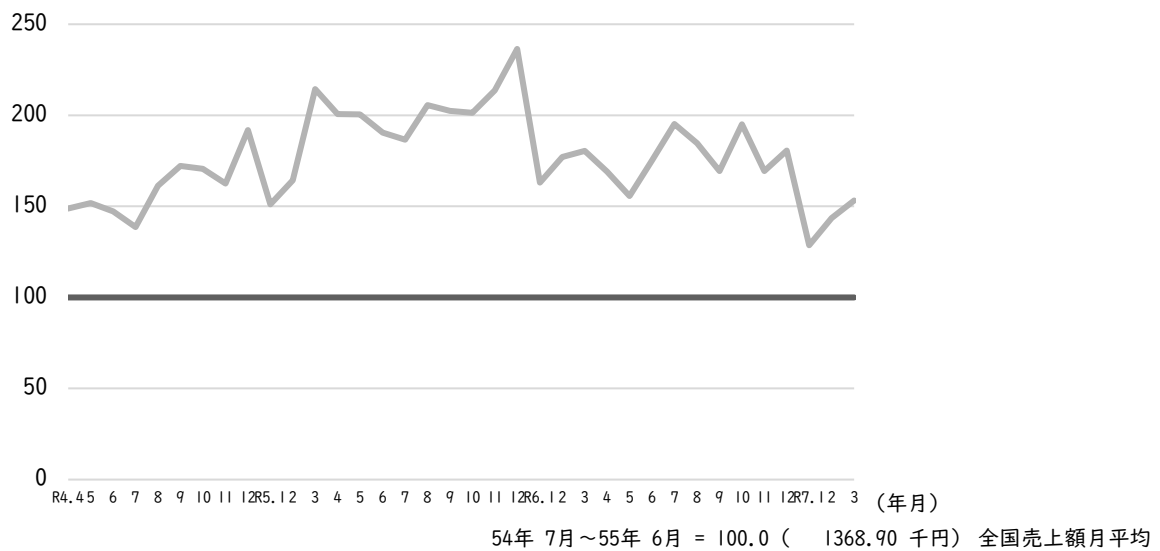


図 4 - 3 売上額の状況－前年同期比－

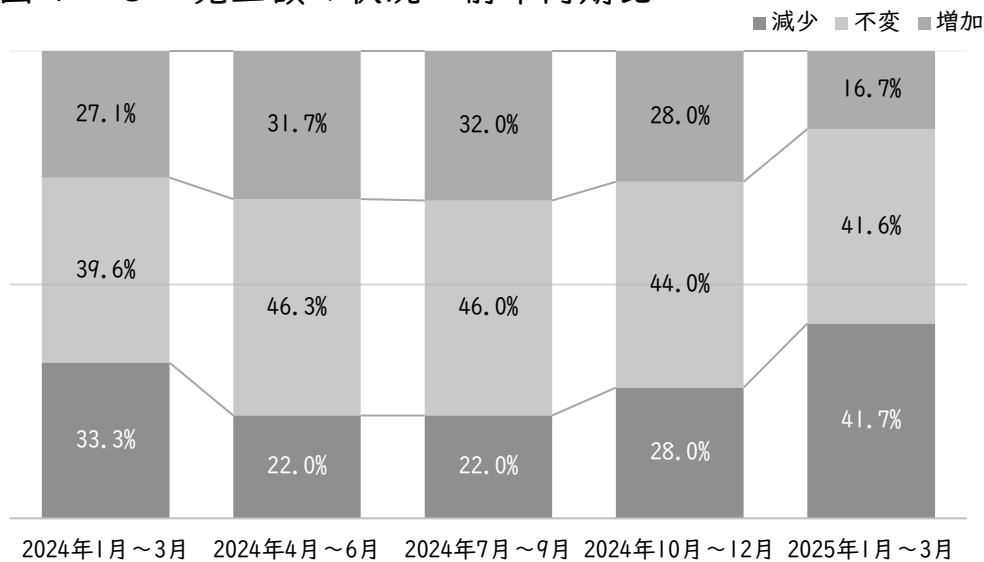


図 4 - 4 採算の状況－前年同期比－

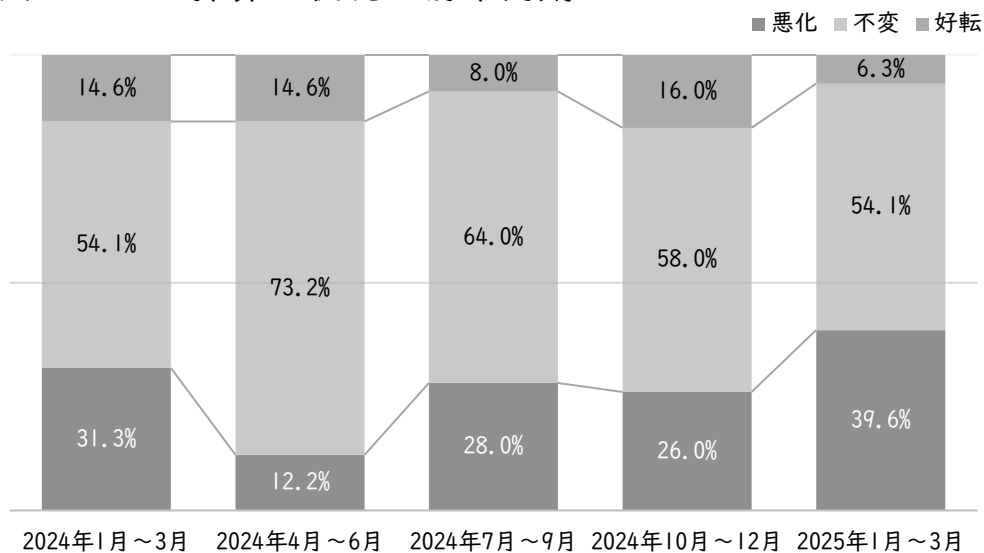


図 4 - 5 設備投資の状況

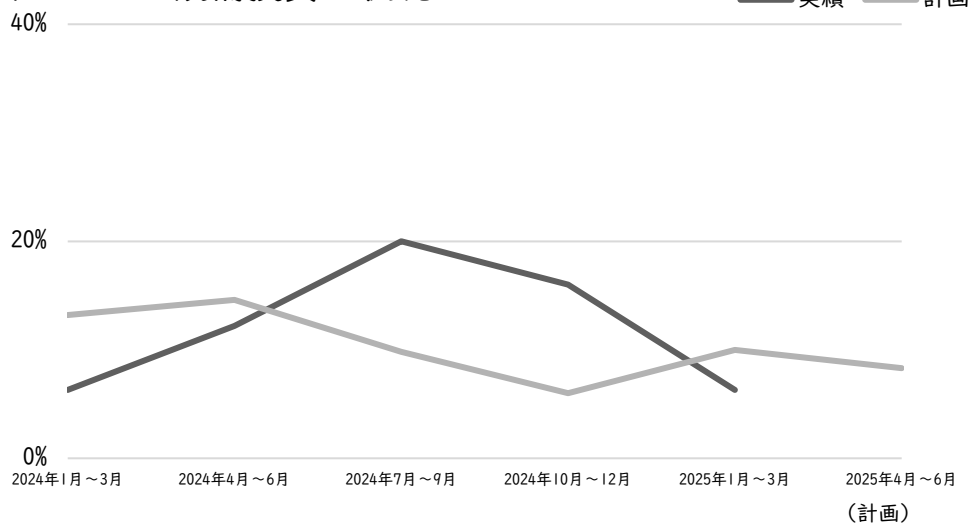


図 4 - 6 経営上の問題点の状況 (1位と1位～3位)

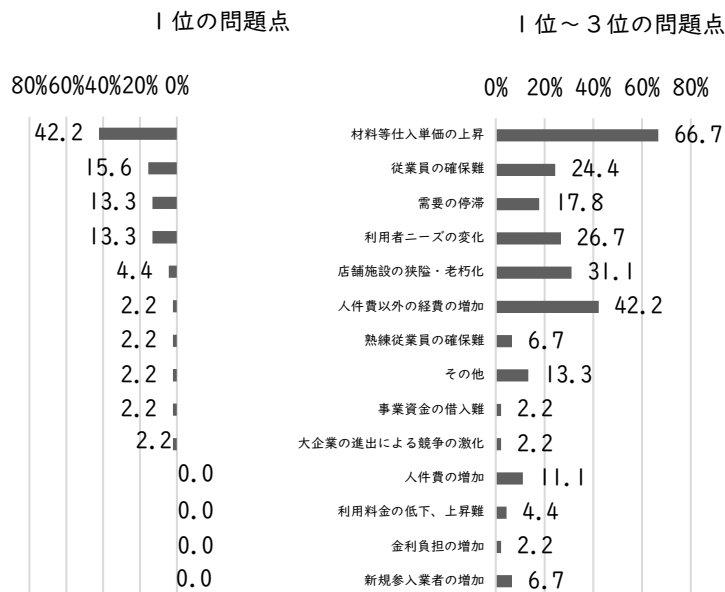


図 4 - 7 経営上の問題点の推移 (1位の問題点・上位5つ)

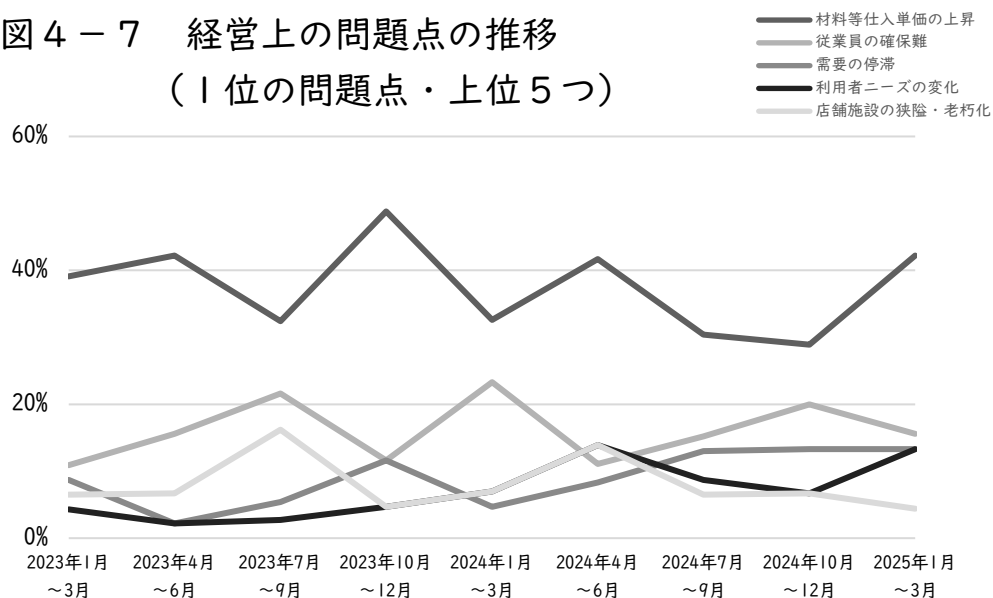


図 4 - 8 売上額の状況－前年同期比－

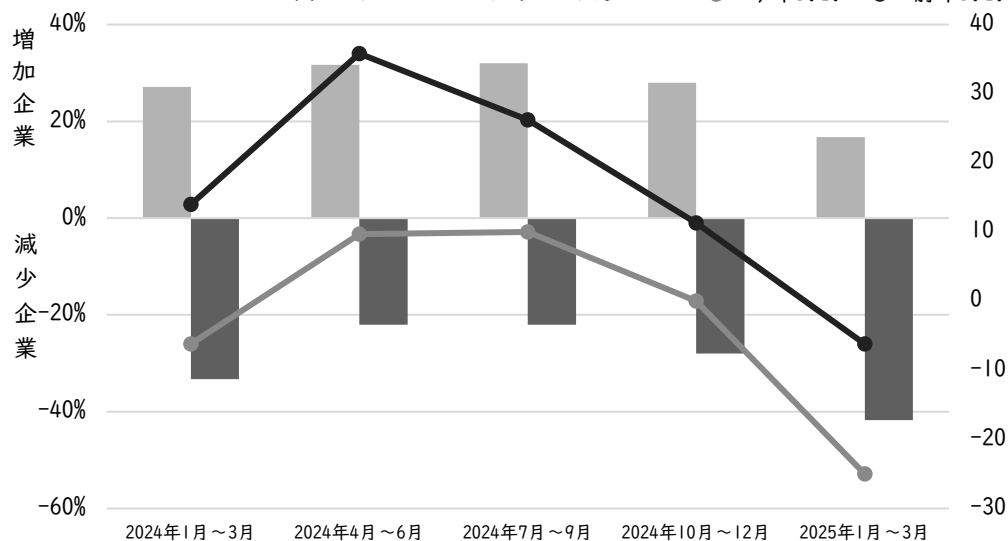
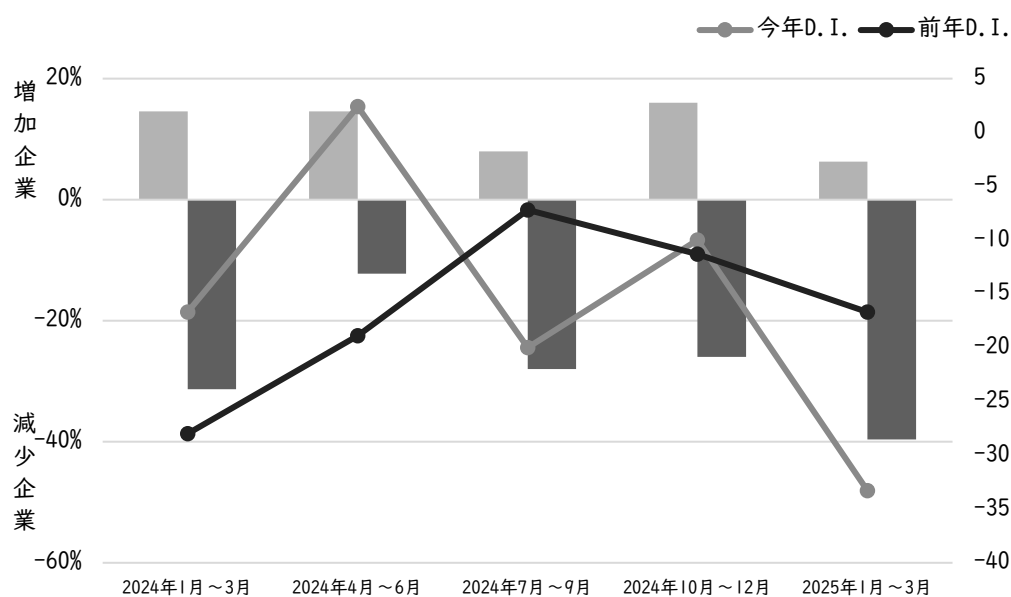
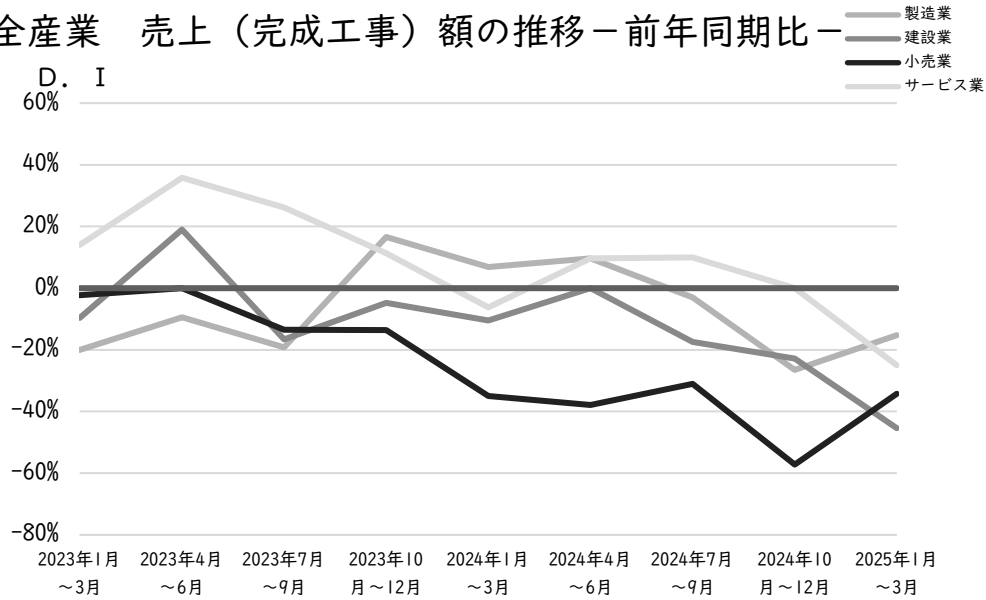


図 4 - 9 採算の状況－前年同期比－

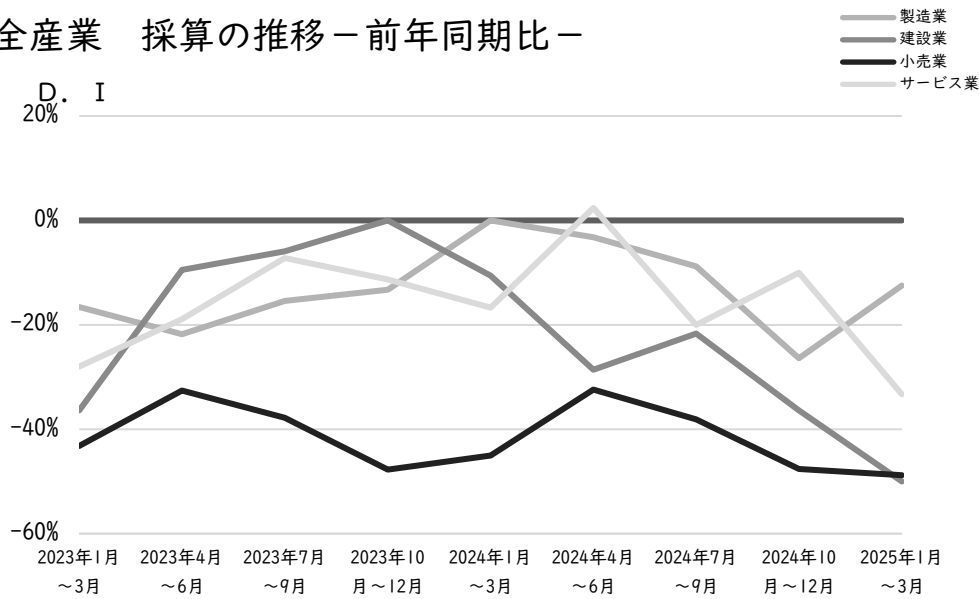


全産業の動向

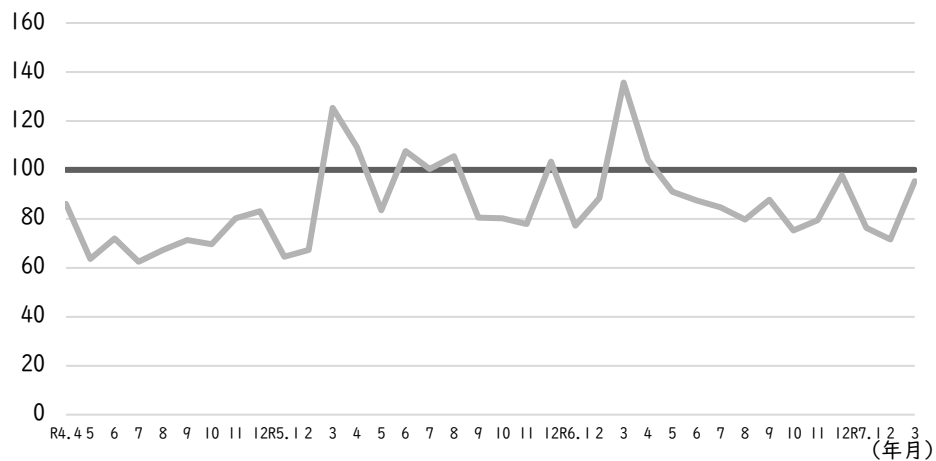
全産業 売上（完成工事）額の推移－前年同期比－



全産業 採算の推移－前年同期比－



全産業 売上額推移（月別指数）



54年 7月～55年 6月 = 100.0 (8213.00 千円) 全国全産業売上額月平均